

電動アシスト自転車の特性

辛い坂道や重い荷物を載せるときなど、電動アシスト自転車はとても便利で快適に活躍してくれることでしょう。

しかし、その特性を知らずに、今まで利用していた自転車と同じ感覚で利用すると、大きな事故につながるかも知れません。

電動アシスト自転車の特性を理解し、安全に利用しましょう！

動力

人力 + 電動モーター
のアシスト付き

重さ

自転車の重量 +
モーターやバッテリーの
重量が加わるほか、安全性
を求めて車体
強度を高めると、重量が増
える

外見

一見“よくある自転車”
だが、バッテリー
等が付いている

速度制限

時速24km になると電動モ
ーターが作動しなくなる(電
動アシストが効かない)

※「電動アシスト自転車」でも時速
24km を超えても補助が続く場合
などは「電動自転車」扱いとなり、
いわゆる“原付バイク”などの二
輪車扱いに。購入前に確認を！

だから…

気をつけて

要！運転免許！ 電動自転車 ~~と~~ 電動アシスト自転車

外形的に電動アシスト自転車によく似ていますが、原動機のみだけで
自走可能な電動自転車=“ペダル付き原動機付き自転車”は**道路交通法**
上の原動機付き自転車又は自動二輪車に該当し、運転するためには、
それぞれに応じた運転免許証が必要です！ほかにも…（裏面へ）

もっと

電動アシスト自転車を

安全に利用するために

～こんなことに気を付けよう～

① サドルの高さに気をつけて！

重量感があるので、サドルにまたがって、両足が
ピッタリと地面に着くように調整しましょう。

また、乗車するときのほか押し歩きするときの安定
性を保つため、自転車のサイズ選びも重要です。



② こぎ始め、急の付く動作に要注意！！

重量感や電動の急な加速に慣れず、バランスを崩す危険、近
くにいる人とぶつかれば、激突して大けがを負わせる危険が高
く、特に「こぎ始め」は慎重に。

サドルにまたがる → スタートボタンを押す → ペダルに
足をおく → こぎ始める（立ちこぎはしない）
などの動作を、1つひとつ丁寧に行うようにしましょう。

また、急発進・急ブレーキ・急ハンドルは、絶対にやめましょう！

③ 停止時は、必ずブレーキを握ったままで！

ペダルに足を置いた状態でブレーキから手を離すと、モーターが作
動し、急に飛び出すことも。不用意にペダルに足を置くことは危険！

※その特性を理解し、試乗や練習をしっかりと行うなど、もっともっと 安全利用を！！

※ペダル付き原動機付き自転車

要 方向指示器
ミラー

要 自賠責保険



要 ナンバー
プレート

要 ブレーキ
ランプ

※原動機を作動させずに
運転した場合も、原付車
や二輪車の「運転」となります。

京都府警察本部

etc